

独立行政法人 国際協力機構(JICA)が発行する「ソーシャルボンド」への投資について

JAいずみの(代表理事組合長 谷口 敏信、以下「当JA」という)は、このたび、独立行政法人国際協力機構(以下 JICA)が発行するソーシャルボンド「JICA 債」に投資しました。

ソーシャルボンドとは、調達された資金が、社会課題への対応を目的とした分野への投融資に利用されることを前提として発行される債券です。

この債券により調達された資金は開発途上地域の基礎インフラ(上下水、交通等)の開発や社会サービス(職業訓練、健康、教育等)へのアクセス改善、食糧安全保障、雇用の創出等、さまざまな課題の解決を目的とした分野への投融資に利用されます。

また、平成 28 年 12 月に政府が策定・公表した「持続可能な開発目標 (SDGs※) 実施指針」では「JICA 債」が SDGs を達成するための具体的施策の一項目に掲げられています。

SDGs の取り組みにある「貧困をなくそう」「飢餓をゼロに」は協同組合の精神である相互扶助と共通するものです。当JAは相互扶助の精神に基づき、将来ビジョンである「食と農を基軸に地域のオピニオンリーダーになる」の実現に向け、さまざまな自己改革に取り組んでいるところです。

今後も適切なリスク管理のもと、事業活動を通じて SDGs の達成に貢献し、地域に根差したJAとしての社会的責任を果たしたいと考えています。

そして、「JICA 債」への投資が、国際社会の健全な成長のために活用され、地域農業・経済のさらなる発展に繋がっていくことを期待しています。

●債券の概要

銘柄名	第 54 回国際協力機構債券
発行日	令和 2 年 6 月 26 日
発行総額	130 億円
当 JA 購入額	1 億円
期間	20 年

※持続可能な開発目標(SDGs)とは、2015年9月に国連で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が掲げる加盟国が2030年までに達成すべき17の目標と169のターゲットのこと。